

# 令和三年度 奈良県教育長賞

## 税との関わり

奈良県立奈良南高等学校 一年 坂井 亮介

「税のしくみ」について、改めて調べることから始めました。まず調べたのが、税の意義と役割です。国民が納めた税金は、どのようなところで使われ、どのような役割を果たしているのかを調べました。

国や都道府県、市区町村は、僕たちが健康で文化的な生活を送るために、個人ではできない様々な仕事をしています。公共サービスや公共施設などの提供もそのひとつです。それらに必要な費用をみんなで負担しているのが税金です。

税金は僕たちの暮らしを支える社会保障や、教育などに使われているのだということです。

次に調べたのが、税金の種類です。税金には、課税主体が国である「国税」と、地方公共団体である「地方税」があります。国税や地方税には数十種類の税金があり、初めて知るものもありました。

高校生の自分にとって、一番身近に使われている税金を調べることにしました。

色々調べていると、それは学校だということが分かりました。日本では、小学校、中学校、高校など、僕たちがしっかりと勉強できる環境をつくるために、教育にたくさんの税金が使われていることを知りました。

例えば、校舎や体育館などの施設全般、教室にあるたくさんの備品、授業で使用するパソコンなど、学校にある様々なものに税金は使われています。一年間で一人あたりに使われる税金の金額は、僕たち高校生で約百万円だと知りました。小学校入学から高校卒業までの十二年間では、公費負担教育費が、一千万円を超える金額になります。

登校して目にするたくさんのものや、学習できる環境に感謝しなければなりません。つい、当たり前のことのように感じていることが、たくさんの納税者の方々に支えられていることを、忘れてはならないと思いました。

また、学校教育以外にも、通学路の整備などに税金が使われています。安全に通学できるように配慮されているのです。

僕たちが安心して教育を受けられるのも、病気やケガをしたときに、安心して病院に行けるのも税金のおかげなのです。税は、僕たちの暮らしを、豊かで安全にするものだと思います。

税に関心を持つことは、納税者として重要なことだと考え、引き続き税の勉強をして、知識を深めたいと思います。

そして、税金を納めて、社会の助け合いに参加できる大人になりたいです。